

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防施設及び消防装備整備基金積立事業			会計	款	項	目	大	小
				01	09	01	03	06	51
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防総務課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	須藤 恭成				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	消防施設及び装備について計画的に整備するため、必要な基金を積み立て、市民の安心・安全に寄与する。
事業内容	消防施設・装備の整備に充てる基金を積み立て、消防施設及び装備について計画的に整備する。			
事業開始から現在までの状況変化	消防施設や装備を充実させることを目的として、一般市民から寄附していただいたことからスタートし、救急車の購入費用としたほか、中央消防署の移転建設費用の一部とする。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	ふるさと納税寄付件数		58	102	件	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 消防本部が目指す、消防庁舎移転や消防力の充実強化を実現するために、市民等から、102件の寄付を受けた。
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)			71,143,990	105,500,032			
事業費(b)(円)			69,801,590	104,181,632			
うち一般財源			67,710,000	100,000,000			
職員給与費(c)(円)			1,342,400	1,318,400			
人役・職員(人)			0.20	0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	中央消防署庁舎建て替えのため、積極的に基金の積み立てを実施。	③取組における課題(Check)	HPだけではなく、広告の配布など、市民等に対して情報提供をしていきたい。
②H30に実施した取組(Do)	HPにて、ふるさと納税について広報を実施した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	当市消防マスコットキャラクターである「おおか君」を用いるなどの、広告方法を検討していきたい。